

学校教育計画

4年間の目標と主な方策（令和2年度～5年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の主旨を踏まえ、生徒の特性等に応じた教育課程を編成し、適切に実施する。 ・社会の変化やニーズに対応し、生き抜くための資質・能力を養うため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを推進する。 ・生徒会活動や学校行事等を充実させ、自主性・主体性・社会性を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム検討委員会を中心に本校生徒に適した教育課程を策定し、3年間で段階的に移行する。 ・ICTを効果的に活用しながらアクティブ・ラーニングの視点からの授業改善を一層推進する。 ・生徒会活動や学校行事等において、生徒と教職員との連携を一層推進し、生徒の活動を支援する体制を強化する。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが安心・安全な学校生活を過ごせるよう、教育環境や支援体制の充実を図る。 ・部活動を通して、協調性・責任感・連帯感の涵養を図るとともに自発的な行動力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援教育について理解を深め、「生活と意識アンケート」、「いじめ防止・人権教育」、交通安全指導やマナーアップ週間等に組織的かつ計画的に取り組む。 ・部活動の目標や運営方針等を踏まえた指導計画に基づき、生徒の主体的な活動を支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した体系的なキャリア教育を実践し、生徒の自己実現力を高める。 ・生徒の個性や多様な進路希望に適した進路支援体制の充実、拡充を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の進路情報提供を積極的に行い、生徒の進路実現への意識向上を図り、目標の実現への意欲を高めるよう指導する。 ・説明会等の内容の充実を図り、生徒が自己の将来像を構築する契機とする。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携・協働により、「開かれた学校づくり」を推進する。 ・保護者・地域への情報提供に努め、家庭・地域の支援体制を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに構築した地域との連携・協働体制の一層の充実を図る。 ・学校ホームページ等の充実により、本校の魅力を積極的に情報発信する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を活用しながら地域との連携・協働を推進し、地域とともに歩む学校づくりを推進する。 ・定期的に不祥事防止研修会を実施し、教職員の危機管理意識を高める。 ・生徒と向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の機能を活かし、教育活動を検証しながら魅力ある教育活動を展開する。 ・教職員が相互に危機管理意識を高め合えるよう、不祥事防止研修会を職員会議に併せて実施する。 ・ICTを活用した校務の効率化や会議の内容精選と勤務時間内の遵守に取り組む。